

月例報告	
学部	国際文化
学科	国際文化
国名	メキシコ
留学先	グアダハラ大学
報告月	2018年8月
内容	<p>1.学習状況の報告</p> <p>&lt;科目名:Antropología cultural 文化人類学&gt;  まだ授業が1回だけですが、人類学とはというところからかつて先生が先住民の村で貯砂した時の話を伺いました。</p> <p>&lt;科目名:Diferenciación de ecosistemas y ciclos biogeográficos 生態系の分化と生物地理学的循環&gt;  観光と持続可能な観光、環境に貢献した人について学びました。出身地域についてのプロジェクトを今後行うためのリストを作成しました。</p> <p>&lt;科目名:Turismo en Áreas Naturales Protegidas 自然保護区における観光&gt;  保護区を管轄している組織を学ぶため初回からメキシコの政府や法のことが出てきて内容がなかなか理解できませんでした。しかし、クラスメートや法学部の学生に宿題も手助けしてもらい乗り切りました。</p> <p>&lt;科目名:Interpretación ecologica ambiental 環境生態学&gt;  初回はInterpretación解釈する、の定義についてチームごとに異なる人物が割り当てられ、その文章を読みどう思ったかをグループで発表するというものでした。しかし、時間内に内容を理解できず自分の考えも述べるできませんでした。</p> <p>&lt;科目名:Educacion ambiental 環境教育&gt;  この授業でも環境教育の定義をまず学び、グループに分かれてベオグラード憲章、京都議定書、リオ宣言について話す予定です。</p> <p>前期後期分かれると思っていた科目が今学期にすべて登録されており、すべて取ることは語学力的に難しいので来期に移動する科目を相談中です。</p> <p>&lt;語学について&gt;  メキシコやラテンアメリカだけで使われているスペイン語表現が数多く存在していて日常的にかなり使われています。また、ひとつの単語が複数の意味を持つことがあります。わからない単語はニュアンスや友達に聞いて、だんだんと理解できるようになってきました。市内にはアジア人がほぼゼロのようなどころなので、スペイン語で会話する機会はふんだんにあります。聞き取れないことやうまく伝えられないことがまだまだたくさんありますが、皆私があたふたスペイン語を話そうとしていても、目を見て聞いて理解しようとしてくれます。私自身もなんとか聞いてジェスチャーを使って伝えられるように心がけています。先日、質問をわからないままあいまいに返事をしてしまったようで、誤って解釈されて後で確認されることがありました。相手を不快にさせてしまうこともあると思うので、注意していきます。</p> <p>2.生活状況の報告</p> <p>今生活しているシウダードグスマンというところは、グアダハラからバスで2時間ほどの山に囲まれていて高い建物のない、朝は鶏の音が聞こえ、家にアリやトカゲがいるような小さな町です。だからか日本で想像していたよりも治安の面での不安は少ないです。朝からガス売りの車が爆音で走っていたり、いたるところに音楽があふれていたり、花火と思われる爆発音が連発したりとメキシコらしさはあります。家や街の様子から見ても日本に比べ貧しさは感じられませんが、人々は皆とても明るく親切で声を掛け合うことが多く、SAでスペインに行った時よりも人との距離感をより身近に感じます。来て一週間ほどたってグアダハラでの留学生の集まりに行く際に、近くの村にある友達の実家に泊めていただきました。そこでメキシコならではの食べ物やピニャータを見て、メキシコの文化の一部を体感しました。グアダハラでは、コロンビア、ペルー、ドイツ、韓国など各国からの留学生が集まって、交流する機会がありました。その後キャンパスでの留学生のツアーで、他の参加者はメキシコ国内からの学生で、国外の留学生が少ないことに少し寂しさも感じましたが、厳しい環境に身を置くことも留学の目的のひとつなのでプラスに捉えています。大学はだいたい夕方前までなので、その後は学校の友達の家や食事に行ったり、公園や文化イベントに行ったりして過ごしています。初めて会った人でも引っ越しを手伝ってくれたり助け合いの精神が根付いているように感じます。日本人の自分よりも日本の伝説やアニメのことに詳しいメキシコの人がかかりいて、自分の国についても勉強不足だと感じました。</p> <p>3.その他(今、感じていること～心境の変化やご自分の成長等)</p> <p>行く前から許可書やビザも取り直しになったり、家も決まらぬまま出発して着いたら荷物が一つ紛失したりと不安要素は様々ありました。しかし、街に着いて友達の家泊めてもらい、その親切な家族や友達と会ううちにメキシコの文化に触れて充実した生活を送ることができるようになりました。メキシコでは外と家の中が繋がっていることが多く、腕や足に無数に虫にさされてかぶれることもあります。衛生面も決して良いとは言えないので、それなのか水道水を何かの経路で口にしてしまったのか、チリなのか腹を下すことが時々あったりということはありませんが、それもメキシコの醍醐味なのではと今となっては感じています。道路が舗装されていなかったり、コンロやお湯のガスがなくなったり、水があまり出なかったりなど快適な生活環境とまではいきませんが、そこで暮らしている人がいるということは最低限のもので生活できるのだということを感じています。</p> <p>写真を複数枚添付する仕方がわからず一枚添付いたします。</p>